



APPENDIX

C

## Cisco IE 2000 スイッチ show platform コマンド

---

この付録では、スイッチ用に作成または変更された **show platform** 特権 EXEC コマンドについて説明します。これらのコマンドは、インターネットワーキングの問題の診断および解決に役立つ情報を表示します。使用する場合には、必ずシスコのテクニカル サポート担当者の指示に従ってください。

# show platform acl

プラットフォームに依存するアクセス コントロール リスト (ACL) マネージャ情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform acl** コマンドを使用します。

```
show platform acl {interface interface-id | label label-number [detail] | statistics asic-number |
usage asic-number [summary] | vlan vlan-id}
```

## 構文の説明

<b>interface</b> <i>interface-id</i>	指定したインターフェイスについて、インターフェイス単位の ACL マネージャ情報を表示します。このインターフェイスには物理インターフェイスまたは VLAN を指定できます。
<b>label</b> <i>label-number</i> <b>detail</b>	ラベル単位の ACL マネージャ情報を表示します。 <i>label-number</i> に指定できる範囲は 0 ~ 255 です。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>detail</b> : (任意) ACL マネージャ ラベル情報の詳細を表示します。</li> </ul>
<b>statistics</b> <i>asic-number</i>	ASIC 単位の ACL マネージャ情報を表示します。 <i>asic-number</i> に指定できる範囲は、0 または 1 のいずれかのポート ASIC 番号です。
<b>usage</b> <i>asic-number</i> <b>summary</b>	ASIC 単位の ACL 使用状況情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>summary</b> : (任意) 使用状況情報の概要を表示します。</li> </ul>
<b>vlan</b> <i>vlan-id</i>	VLAN 単位の ACL マネージャ情報を表示します。 <i>vlan-id</i> に指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

# show platform backup interface

Flex Link 設定で使用されているプラットフォーム依存型バックアップ情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform backup interface** コマンドを使用します。

```
show platform backup interface [interface-id | dummyQ]
```

構文の説明	<i>interface-id</i>	(任意) すべてのインターフェイスまたは指定したインターフェイスのバックアップ情報を表示します。このインターフェイスには物理インターフェイスまたはポート チャネルを指定できます。
	<b>dummyQ</b>	(任意) ダミー キュー情報を表示します。
デフォルト	なし	
コマンドモード	特権 EXEC	
コマンド履歴	リリース	変更箇所
	15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。	

# show platform configuration

プラットフォームに依存するコンフィギュレーション マネージャ関連情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform configuration** コマンドを使用します。

**show platform configuration {config-output | default | running | startup}**

## 構文の説明

<b>config-output</b>	最後の自動設定アプリケーションの出力を表示します。
<b>default</b>	システムがデフォルト設定を実行しているかどうかを表示します。
<b>running</b>	ローカル スイッチのバックアップ実行コンフィギュレーションのスナップショットを表示します。
<b>startup</b>	ローカル スイッチのバックアップ スタートアップ コンフィギュレーションのスナップショットを表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。



(注)

このコマンドは、スイッチが IP サービス イメージを実行している場合だけ使用可能です。

# show platform etherchannel

プラットフォームに依存する EtherChannel 情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform etherchannel** コマンドを使用します。

```
show platform etherchannel {flags | time-stamps}
```

構文の説明	<b>flags</b>	EtherChannel ポート フラグを表示します。
	<b>time-stamps</b>	EtherChannel タイム スタンプを表示します。
デフォルト	なし	
コマンドモード	特権 EXEC	
コマンド履歴	<b>リリース</b>	<b>変更箇所</b>
	15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。	

# show platform forward

指定したパラメータと一致したフレームをハードウェアで転送する方法を指定するには、インターフェイスに対して特権 EXEC モードで **show platform forward** コマンドを使用します。

```
show platform forward interface-id [vlan vlan-id] src-mac dst-mac [l3protocol-id] [ipv6 | sap |
snap] [cos cos] [ip src-ip dst-ip [frag field] [dscp dscp] {l4protocol-id | icmp icmp-type
icmp-code | igmp igmp-version igmp-type | sctp src-port dst-port | tcp src-port dst-port flags |
udp src-port dst-port}]
```

## 構文の説明

<i>interface-id</i>	パケットがスイッチに着信するポートとなる入力物理インターフェイス (タイプ、ポート番号を含む)。
<b>vlan</b> <i>vlan-id</i>	(任意) 入力 VLAN ID を指定します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。この値が指定されず、入力インターフェイスがルーテッドポートでない場合、デフォルトは 1 です。
<i>src-mac</i>	48 ビット送信元 MAC アドレス。
<i>dst-mac</i>	48 ビット宛先 MAC アドレス。
<i>l3protocol-id</i>	(任意) パケットで使用されるレイヤ 3 プロトコル。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
<b>ipv6</b>	(任意) IPv6 フレームを指定します。このキーワードは、スイッチで IP サービス イメージが稼働している場合にだけ使用できます。
<b>sap</b>	(任意) サービス アクセス ポイント (SAP) カプセル化タイプを指定します。
<b>snap</b>	(任意) サブネットワーク アクセス プロトコル (SNAP) カプセル化タイプを指定します。
<b>cos</b> <i>cos</i>	(任意) フレームのサービス クラス (CoS) 値を指定します。指定できる範囲は 0 ~ 7 です。
<b>ip</b> <i>src-ip dst-ip</i>	(任意、ただし IP パケットの場合は必須) ドット付き 10 進表記の送信元および宛先 IP アドレスを指定します。
<b>frag</b> <i>field</i>	(任意) フラグメント IP パケットの IP フラグメント フィールドを指定します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
<b>dscp</b> <i>dscp</i>	(任意) IP ヘッダーの DiffServ コード ポイント (DSCP) フィールドを指定します。指定できる範囲は 0 ~ 63 です。
<i>l4protocol-id</i>	IP ヘッダーのレイヤ 4 プロトコル フィールドの数値。指定できる範囲は 0 ~ 255 です。たとえば、47 は総称ルーティング カプセル化 (GRE) であり、89 は Open Shortest Path First (OSPF) です。プロトコルが TCP、ユーザ データグラム プロトコル (UDP)、インターネット制御メッセージ プロトコル (ICMP)、またはインターネットグループ管理プロトコル (IGMP) である場合、数値の代わりに適切なキーワードを使用する必要があります。
<b>icmp</b> <i>icmp-type icmp-code</i>	ICMP パラメータを指定します。 <i>icmp-type</i> および <i>icmp-code</i> に指定できる範囲は 0 ~ 255 です。
<b>igmp</b> <i>igmp-version igmp-type</i>	IGMP パラメータを指定します。指定できる範囲は、 <i>igmp-version</i> は 1 ~ 15、 <i>igmp-type</i> は 0 ~ 15 です。
<b>sctp</b> <i>src-port dst-port</i>	Stream Control Transmission Protocol (SCTP) パラメータを指定します。SCTP 送信元および宛先ポートに指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。

<b>tcp</b> <i>src-port dst-port flags</i>	TCP パラメータ (ヘッダーの TCP 送信元ポート、宛先ポート、TCP フラグ バイトの数値) を指定します。 <i>src-port</i> および <i>dst-port</i> に指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。指定できるフラグ範囲は 0 ~ 1024 です。
<b>udp</b> <i>src-port dst-port</i>	UDP パラメータを指定します。 <i>src-port</i> および <i>dst-port</i> に指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

**例** **show platform forward** コマンドの出力表示の例およびその意味については、このリリースに対応するソフトウェア コンフィギュレーション ガイドの「Troubleshooting」の章を参照してください。

# show platform ip igmp snooping

プラットフォームに依存するインターネットグループ管理プロトコル (IGMP) スヌーピング情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform ip igmp snooping** コマンドを使用します。

```
show platform ip igmp snooping {all | control [di] | counters | flood [vlan vlan-id] | group
ip-address | hardware | retry [count | local [count] | remote [count]]}
```

## 構文の説明

<b>all</b>	すべての IGMP スヌーピング プラットフォーム IP マルチキャスト情報を表示します。
<b>control di</b>	IGMP スヌーピング コントロール エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>di</b> : (任意) IGMP スヌーピング コントロール宛先インデックス エントリを表示します。</li> </ul>
<b>counters</b>	IGMP スヌーピング カウンタを表示します。
<b>flood vlan vlan-id</b>	IGMP スヌーピング フラッディング情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>vlan vlan-id</b> : (任意) 指定した VLAN のフラッディング情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。</li> </ul>
<b>group ip-address</b>	IGMP スヌーピング マルチキャスト グループ情報を表示します。ここで、 <i>ip-address</i> はグループの IP アドレスです。
<b>hardware</b>	ハードウェアにロードされた IGMP スヌーピング情報を表示します。
<b>retry count   local count</b>	IGMP スヌーピング再試行情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>count</b> : (任意) 再試行回数だけを表示します。</li> <li><b>local</b> : (任意) ローカル再試行エントリを表示します。</li> </ul>
<b>remote count</b>	リモート エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>count</b> : (任意) リモート カウントだけを表示します。</li> </ul>

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。



# show platform ip unicast

プラットフォームに依存する IP ユニキャスト ルーティング情報を表示するには、特権 EXEC モードで `show platform ip unicast` コマンドを使用します。

```
show platform ip unicast {adjacency | cef-idb | counts | dhcp | failed {adjacency | arp [A.B.C.D]
| route} | loadbalance | mpaths | proxy | route | standby | statistics | table | trace}
```

## 構文の説明

<b>adjacency</b>	プラットフォーム隣接データベースを表示します。
<b>cef-idb</b>	シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) インターフェイス記述子ブロックに対応するプラットフォーム情報を表示します。
<b>counts</b>	レイヤ 3 ユニキャスト データベースの現在のカウントを表示します。
<b>dhcp</b>	DHCP システム ダイナミック アドレスを表示します。
<b>failed adjacency   arp A.B.C.D   route</b>	ハードウェア リソース障害を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>adjacency</b> : ハードウェアでのプログラミングに失敗した隣接エントリを表示します。</li> <li><b>arp</b> : 障害および再試行によるアドレス解決プロトコル (ARP) の削除を表示します。</li> <li><b>A.B.C.D</b> : (任意) 表示する ARP エントリのプレフィックス。</li> <li><b>route</b> : ハードウェアでのプログラミングに失敗したルート エントリを表示します。</li> </ul>
<b>loadbalance</b>	プラットフォーム ロード バランス データベースを表示します。
<b>mpaths</b>	レイヤ 3 ユニキャスト ルーティング マルチパス隣接データベースを表示します。
<b>proxy</b>	プラットフォーム プロキシ ARP データベースを表示します。
<b>route</b>	プラットフォーム ルート データベースを表示します。
<b>standby</b>	プラットフォーム スタンバイ情報を表示します。
<b>statistics</b>	レイヤ 3 ユニキャスト ルーティング累積統計を表示します。
<b>table</b>	プラットフォーム IP version 4 (IPv4) 情報を表示します。
<b>trace</b>	プラットフォーム イベント トレース ログを表示します。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

## ■ show platform ip unicast



(注) このコマンドは、スイッチが IP サービス イメージを実行している場合だけ使用可能です。

# show platform ip unicast vrf compaction

圧縮要求キューおよび圧縮ステータスを表示するには、特権 EXEC モードで **show platform ip unicast vrf compaction** コマンドを使用します。

## show platform ip unicast vrf compaction

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

なし

### コマンドモード

特権 EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。



(注)

このコマンドは、スイッチが IP サービス イメージを実行している場合だけ使用可能です。

# show platform ip unicast vrf tcam-label

PBR および VRF-Lite ラベルと、PBR で使用されているラベルの数を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform ip unicast vrf tcam-label** コマンドを使用します。

**show platform ip unicast vrf tcam-label**

## 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。




(注)

このコマンドは、スイッチが IP サービス イメージを実行している場合だけ使用可能です。

# show platform ip wccp

プラットフォームに依存する Web Cache Communication Protocol (WCCP) の情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform ip wccp** コマンドを使用します。

```
show platform ip wccp {detail | label}
```

構文の説明	<b>detail</b>	プラットフォーム WCCP の詳細を表示します。
	<b>label</b>	プラットフォーム WCCP のラベルを表示します。
デフォルト	なし	
コマンドモード	特権 EXEC	
コマンド履歴	<b>リリース</b>	<b>変更内容</b>
	15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。	
	 (注)	このコマンドは、スイッチが IP サービス イメージを実行している場合だけ使用可能です。

# show platform ipv6 unicast

プラットフォームに依存する IPv6 ユニキャスト ルーティング情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform ipv6 unicast** コマンドを使用します。このコマンドは、スイッチが IP サービスイメージを稼働している場合にのみ使用することができます。

```
show platform ipv6 unicast {adjacency [ipv6-prefix] | backwalk {adjacency | loadbalance} |
compress ipv6-prefix/prefix length | interface | loadbalance | mpath | retry {adjacency |
route} | route [ipv6-prefix/prefix length | tcam] [detail] | statistics | table [detail] | trace}
```

## 構文の説明

<b>adjacency</b> <i>ipv6-prefix</i>	スイッチまたは指定した IPv6 ネットワークの IPv6 隣接情報を表示します。 (任意) IPv6 ネットワークを表示します。この引数は、RFC 2373 に記述されている形式にする必要があります。コロン区切りの 16 ビット値を使用して、アドレスを 16 進数で指定します。
<b>backwalk adjacency   loadbalance</b>	IPv6 バックウォーク情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>adjacency</b> : 隣接バックウォーク情報を表示します。</li> <li><b>loadbalance</b> : バックウォーク ロードバランス情報を表示します。</li> </ul>
<b>compress</b> <i>ipv6-prefix/prefix length</i>	IPv6 プレフィックス圧縮情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li><i>ipv6-prefix</i> : IPv6 ネットワークです。</li> <li><i>/prefix length</i> : IPv6 ネットワーク プレフィックスの長さです。アドレスの上位何ビットがプレフィックス (アドレスのネットワーク部) であるかを示す、0 ~ 128 の 10 進値。スラッシュ記号を 10 進値の前に付ける必要があります。</li> </ul>
<b>interface</b>	IPv6 インターフェイスの情報を表示します。
<b>loadbalance</b>	IPv6 のロード バランシングに関する情報を表示します。
<b>mpath</b>	IPv6 マルチパス情報を表示します。
<b>retry adjacency   route</b>	IPv6 リトライ情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>adjacency</b> : IPv6 隣接リトライ情報を表示します。</li> <li><b>route</b> : IPv6 ルートリトライ情報を表示します。</li> </ul>
<b>route</b>	IPv6 ルート情報を表示します。
<b>tcam</b>	(任意) IPv6 TCAM ルート テーブル情報を表示します。
<b>detail</b>	(任意) IPv6 ルート情報の詳細を表示します。
<b>statistics</b>	IPv6 累積統計を表示します。
<b>table</b>	IPv6 ユニキャスト テーブル情報を表示します。
<b>trace</b>	IPv6 ユニキャスト トレースを表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン**

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

**(注)**

このコマンドは、スイッチが IP サービス イメージを実行している場合だけ使用可能です。

# show platform layer4op

プラットフォームに依存するレイヤ 4 演算子情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform layer4op** コマンドを使用します。

```
show platform layer4op {acl | pacl [port-asic] | qos [port-asic]} {and-or | map | or-and | vcu}
```

## 構文の説明

<b>acl</b>	アクセス コントロール リスト (ACL) レイヤ 4 演算子情報を表示します。
<b>pacl</b> <i>port-asic</i>	ポート ACL レイヤ 4 演算子情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><i>port-asic</i> : (任意) ポート ASIC 番号を表示します。</li> </ul>
<b>qos</b> <i>port-asic</i>	Quality of Service (QoS) レイヤ 4 演算子情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><i>port-asic</i> : (任意) QoS ポート ASIC 番号を表示します。</li> </ul>
<b>and-or</b>	AND-OR レジスタ情報を表示します。
<b>map</b>	選択マップ情報を表示します。
<b>or-and</b>	OR-AND レジスタ情報を表示します。
<b>vcu</b>	Value Compare Unit (VCU) レジスタ情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。



# show platform mac-address-table

プラットフォームに依存する MAC アドレス テーブル情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform mac-address-table** コマンドを使用します。

```
show platform mac-address-table [aging-array | hash-table | mac-address mac-address] [vlan vlan-id]
```

## 構文の説明

<b>aging-array</b>	(任意) MAC アドレス テーブル エージング アレイを表示します。
<b>hash-table</b>	(任意) MAC アドレス テーブル ハッシュ テーブルを表示します。
<b>mac-address <i>mac-address</i></b>	(任意) MAC アドレス テーブル MAC アドレス情報を表示します。ここで、 <i>mac-address</i> は 48 ビットハードウェア アドレスです。
<b>vlan <i>vlan-id</i></b>	(任意) 指定した VLAN の情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

# show platform messaging

プラットフォームに依存するアプリケーションおよびパフォーマンス メッセージ情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform messaging** コマンドを使用します。

```
show platform messaging {application [incoming | outgoing | summary] | hipperf [class-number]}
```

## 構文の説明

<b>application incoming   outgoing   summary</b>	アプリケーション メッセージ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>incoming</b> : (任意) 着信アプリケーション メッセージング要求に関する情報だけを表示します。</li> <li>• <b>outgoing</b> : (任意) 発信アプリケーション メッセージング要求に関する情報だけを表示します。</li> <li>• <b>summary</b> : (任意) すべてのアプリケーション メッセージング要求に関するサマリー情報を表示します。</li> </ul>
<b>hipperf [class-number]</b>	発信ハイパフォーマンス メッセージ情報を表示します。特定のクラス番号のハイパフォーマンス メッセージについての情報を表示するには、 <i>class-number</i> オプションを指定します。指定できる範囲は 0 ~ 36 です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

# show platform monitor

プラットフォームに依存するスイッチドポートアナライザ (SPAN) 情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform monitor** コマンドを使用します。

```
show platform monitor [session session-number]
```

<b>構文の説明</b>	<b>session</b> <i>session-number</i>	(任意) 指定した SPAN セッションの SPAN 情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 66 です。
<b>デフォルト</b>	なし	
<b>コマンドモード</b>	特権 EXEC	
<b>コマンド履歴</b>	<b>リリース</b> 15.0(1)EY	<b>変更箇所</b> このコマンドが追加されました。
<b>使用上のガイドライン</b>	このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。	

# show platform mvr table

プラットフォームに依存するマルチキャスト VLAN レジストレーション (MVR) マルチエクspansion 記述子 (MED) グループ マッピング テーブルを表示するには、特権 EXEC モードで **show platform mvr table** コマンドを使用します。

**show platform mvr table**

## 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

# show platform pm

プラットフォームに依存するポート マネージャ情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform pm** コマンドを使用します。

```
show platform pm {counters | group-masks | idbs {active-idbs | deleted-idbs} | if-numbers |
link-status | platform-block | port-info interface-id | vlan {info | line-state}}
```

## 構文の説明

<b>counters</b>	モジュール カウンタ情報を表示します。
<b>group-masks</b>	EtherChannel グループ マスク情報を表示します。
<b>idbs active-idbs   deleted-idbs</b>	Interface Data Block (IDB) 情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>active-idbs</b> : アクティブ IDB 情報を表示します。</li> <li><b>deleted-idbs</b> : 削除または漏えいされた IDB 情報を表示します。</li> </ul>
<b>if-numbers</b>	インターフェイス番号情報を表示します。
<b>link-status</b>	ローカル ポートのリンク ステータス情報を表示します。
<b>platform-block</b>	プラットフォーム ポート ブロック情報を表示します。
<b>port-info interface-id</b>	指定したインターフェイスのポート管理フィールドおよび動作フィールドを表示します。
<b>vlan info   line-state</b>	プラットフォーム VLAN 情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>info</b> : アクティブ VLAN の情報を表示します。</li> <li><b>line-state</b> : ラインステート情報を表示します。</li> </ul>

## デフォルト

なし

## コマンド モード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。



(注)

**stack-view** キーワードは、コマンドラインのヘルプ ストリングには表示されていますが、サポートされていません。

# show platform port-asic

プラットフォームに依存するポート ASIC レジスタ情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform port-asic** コマンドを使用します。

```
show platform port-asic {cpu-queue-map-table [asic number | port number [asic number]] |
  dest-map index number |
  etherchannel-info [asic number | port number [asic number]] |
  exception [asic number | port number [asic number]] |
  global-status [asic number | port number [asic number]] |
  learning [asic number | port number [asic number]] |
  mac-info [asic number | port number [asic number]] |
  mvid [asic number] |
  packet-info-ram [asic number | index number [asic number]] |
  port-info [asic number | port number [asic number]] |
  prog-parser [asic number | port number [asic number]] |
  receive {buffer-queue | port-fifo | supervisor-sram} [asic number | port number [asic
  number]] |
  span [vlan-id [asic number] | [asic number]
  stats {drop | enqueue | miscellaneous | supervisor} [asic number | port number [asic number]] |
  transmit {port-fifo | queue | supervisor-sram} [asic number | port number [asic number]]
  vct [asic number | port number [asic number]]
  version}
```

## 構文の説明

<b>cpu-queue-map-table</b> [asic number   port number [asic number]]	CPU キュー マップ テーブル エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定した ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定したポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。</li> </ul>
<b>dest-map index number</b>	指定したインデックスの宛先マップ情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
<b>etherchannel-info</b> [asic number   port number [asic number]]	EtherChannel 情報レジスタの内容を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定した ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定したポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>exception</b> [asic number   port number [asic number]]	例外インデックス レジスタ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定した ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定したポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>

<b>global-status</b> [ <i>asic number</i>   <b>port number</b> [ <i>asic number</i> ]]	<p>グローバルおよび中断ステータスを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定した ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定したポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>learning</b> [ <i>asic number</i>   <b>port number</b> [ <i>asic number</i> ]]	<p>学習キャッシュ内のエントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定した ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定したポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>mac-info</b> [ <i>asic number</i>   <b>port number</b> [ <i>asic number</i> ]]	<p>MAC 情報レジスタの内容を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定した ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定したポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>mvid</b> [ <i>asic number</i> ]	<p>マッピングされた VLAN ID テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定した ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> </ul>
<b>packet-info-ram</b> [ <i>asic number</i>   <b>index number</b> [ <i>asic number</i> ]]	<p>パケット情報 RAM を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定した ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>index number</b> : (任意) 指定したパケット RAM インデックス番号および ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 63 です。</li> </ul>
<b>port-info</b> [ <i>asic number</i>   <b>port number</b> [ <i>asic number</i> ]]	<p>ポート情報レジスタ値を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定した ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定したポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>prog-parser</b> [ <i>asic number</i>   <b>port number</b> [ <i>asic number</i> ]]	<p>プログラマブル パーサー テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定した ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定したポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>

<b>receive</b> { <b>buffer-queue</b>   <b>port-fifo</b>   <b>supervisor-sram</b> } [ <b>asic number</b>   <b>port number</b> [ <b>asic number</b> ]]	<p>受信情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>buffer-queue</b> : バッファ キュー情報を表示します。</li> <li>• <b>port-fifo</b> : ポート FIFO 情報を表示します。</li> <li>• <b>supervisor-sram</b> : スーパーバイザ Static RAM (SRAM) 情報を表示します。</li> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定した ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定したポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>span</b> [ <b>vlan-id</b>   <b>asic number</b> ]	<p>スイッチド ポート アナライザ (SPAN) 関連情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>vlan-id</b> : (任意) 指定した VLAN の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1023 です。</li> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定した ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> </ul>
<b>stats</b> { <b>drop</b>   <b>enqueue</b>   <b>miscellaneous</b>   <b>supervisor</b> } [ <b>asic number</b>   <b>port number</b> [ <b>asic number</b> ]]	<p>ポート ASIC の未処理の統計を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>drop</b> : ドロップ統計情報を表示します。</li> <li>• <b>enqueue</b> : エンキュー統計情報を表示します。</li> <li>• <b>miscellaneous</b> : 各種統計情報を表示します。</li> <li>• <b>supervisor</b> : スーパーバイザ統計情報を表示します。</li> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定した ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定したポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>transmit</b> { <b>port-fifo</b>   <b>queue</b>   <b>supervisor-sram</b> } [ <b>asic number</b>   <b>port number</b> [ <b>asic number</b> ]]	<p>送信情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>port-fifo</b> : ポート FIFO 情報レジスタの内容を表示します。</li> <li>• <b>queue</b> : キュー情報レジスタの内容を表示します。</li> <li>• <b>supervisor-sram</b> : スーパーバイザ SRAM 情報を表示します。</li> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定した ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定したポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>



<b>vct</b> [ <i>asic number</i>   <i>port number</i> [ <i>asic number</i> ]]	指定した ASIC または指定したポートおよび ASIC の VLAN 圧縮テーブル エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定した ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定したポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>version</b>	ポート ASIC のバージョンおよびデバイス タイプ情報を表示します。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** 特権 EXEC

<b>コマンド履歴</b>	<b>リリース</b>	<b>変更箇所</b>
	15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。



**(注)** **stack {control | dest-map | learning | messages | mvid | prog-parser | span | stats [asic number | port number [asic number]]}** キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtringには表示されますが、サポートされていません。

# show platform port-security

プラットフォームに依存するポートセキュリティ情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform port-security** コマンドを使用します。

**show platform port-security**

## 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

# show platform qos

プラットフォームに依存する Quality of Service (QoS) 情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform qos** コマンドを使用します。

```
show platform qos {label asic number | policer {parameters asic number |
port alloc number asic number}}
```



(注) このコマンドを使用できるのは、スイッチが LAN Base イメージを実行している場合だけです。

## 構文の説明

<b>label asic number</b>	指定した ASIC の QoS ラベル マップを表示します。 (任意) <b>asic number</b> に指定できる範囲は 0 ~ 1 です。
<b>policer {parameters asic number   port alloc number asic number}</b>	ポリサー情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>parameters asic number</b> : 指定した ASIC のパラメータ情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port alloc number asic number</b> : 指定したポートおよび ASIC のポート割り当て情報を表示します。ポート割り当てに指定できる範囲は 0 ~ 25 です。ASIC に指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> </ul>

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

# show platform resource-manager

プラットフォームに依存するリソース マネージャ情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform resource-manager** コマンドを使用します。

```
show platform resource-manager {dm [index number] | erd [index number] |
  mad [index number] | med [index number] | mod | msm {hash-table [vlan vlan-id] |
  mac-address mac-address [vlan vlan-id]} | sd [index number] |
  vld [index number]}
```

## 構文の説明

<b>dm</b> [index number]	宛先マップを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> : (任意) 指定したインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>
<b>erd</b> [index number]	指定したインデックスの等コスト ルート記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> : (任意) 指定したインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>
<b>mad</b> [index number]	指定したインデックスの MAC アドレス記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> : (任意) 指定したインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>
<b>med</b> [index number]	指定したインデックスのマルチエクステンション記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> : (任意) 指定したインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>
<b>mod</b>	リソース マネージャ モジュール情報を表示します。
<b>msm</b> {hash-table [vlan vlan-id]   mac-address mac-address [vlan vlan-id]}	MAC アドレス記述子テーブルおよびステーション記述子テーブル情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>hash-table [vlan vlan-id]</b> : すべての VLAN または指定した VLAN のハッシュ テーブルを表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。</li> <li><b>mac-address mac-address [vlan vlan-id]</b> : すべての VLAN または指定した VLAN に対する、48 ビット ハードウェア アドレスで表される指定した MAC アドレスの MAC アドレス記述子テーブルを表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。</li> </ul>
<b>sd</b> [index number]	指定したインデックスのステーション記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> : (任意) 指定したインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>
<b>vld</b> [index number]	指定したインデックスの VLAN リスト記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> : (任意) 指定したインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>

## デフォルト

なし

---

**コマンドモード**      特権 EXEC

---

<b>コマンド履歴</b>	<b>リリース</b>	<b>変更箇所</b>
	15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

---

---

**使用上のガイドライン**      このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

# show platform sdfash

プラットフォーム SD フラッシュ情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform sdfash** コマンドを使用します。

**show platform sdfash {status}**

構文の説明	<b>status</b>	SD フラッシュの状態を表示します。
-------	---------------	--------------------

デフォルト	なし
-------	----

コマンドモード	特権 EXEC
---------	---------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	15.0(1)EY	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。
------------	---

例	次に、プラットフォーム SD フラッシュ情報を表示する例を示します。
---	------------------------------------

```
Switch# show platform sdfash
SD Flash not present
Switch#
```

# show platform snmp counters

プラットフォームに依存する簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) カウンタ情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform snmp counters** コマンドを使用します。

## show platform snmp counters

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

なし

### コマンドモード

特権 EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更箇所
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

# show platform spanning-tree

プラットフォームに依存するスパニングツリー情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform spanning-tree** コマンドを使用します。

**show platform spanning-tree synchronization [detail | vlan *vlan-id*]**

## 構文の説明

<b>synchronization</b> [ <b>detail</b>   <b>vlan</b> <i>vlan-id</i> ]	<p>スパニングツリー ステート同期情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>detail</b> : (任意) スパニングツリー情報の詳細を表示します。</li> <li>• <b>vlan <i>vlan-id</i></b> : (任意) 指定した VLAN の VLAN スイッチ スパニングツリー情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。</li> </ul>
---	--

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。



# show platform stp-instance

プラットフォームに依存するスパニングツリー インスタンス情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform stp-instance** コマンドを使用します。

```
show platform stp-instance vlan-id
```

構文の説明	<i>vlan-id</i>	指定した VLAN のスパニングツリー インスタンス情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。
デフォルト	なし	
コマンドモード	特権 EXEC	
コマンド履歴	<b>リリース</b> 15.0(1)EY	<b>変更箇所</b> このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。	

# show platform tcam

プラットフォームに依存する Ternary Content Addressable Memory (TCAM) ドライバ情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform tcam** コマンドを使用します。

```
show platform tcam {handle number | log-results | table {acl | all | equal-cost-route | ipv6 {qos |
secondary} local | mac-address | multicast-expansion | qos | secondary | station | vlan-list}
| usage} [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid | num
number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]]
```

```
show platform tcam table all [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] |
invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]]
| invalid]]
```

```
show platform tcam table equal-cost-route [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail
[invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail
[invalid]] | invalid]]
```

```
show platform tcam table ipv6 {qos | secondary} [asic number [detail [invalid]] | [index number
[detail [invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number
[detail [invalid]] | invalid]]
```

```
show platform tcam table local [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]]
| invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]]
| invalid]]
```

```
show platform tcam table mac-address [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail
[invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail
[invalid]] | invalid]]
```

```
show platform tcam table multicast-expansion [asic number [detail [invalid]] | [index number
[detail [invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number
[detail [invalid]] | invalid]]
```

```
show platform tcam table qos [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] |
invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]]
| invalid]]
```

```
show platform tcam table secondary [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail
[invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail
[invalid]] | invalid]]
```

```
show platform tcam table station [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]]
| invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]]
| invalid]]
```

```
show platform tcam table vlan-list [ [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail
[invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail
[invalid]] | invalid]]
```

## 構文の説明

<b>handle number</b>	TCAM ハンドルを表示します。指定できる範囲は 0 ～ 4294967295 です。
<b>log-results</b>	TCAM ログ結果を表示します。

**table** {acl | all | equal-cost-route | ipv6 {qos | secondary} local | mac-address | multicast-expansion | qos | secondary | station | vlan-list}

ルックアップおよび転送テーブル情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。

- **all** : すべての TCAM テーブルを表示します。
- **equal-cost-route** : 等価コスト ルート テーブルを表示します。
- **ipv6** : IPv6 情報を表示します。
  - **qos** : IPv6 QoS テーブル情報を表示します。
  - **secondary** : IPv6 セカンダリ テーブル情報を表示します。
- **local** : ローカル テーブルを表示します。
- **mac-address** : MAC アドレス テーブルを表示します。
- **multicast-expansion** : IPv6 マルチキャスト拡張テーブルを表示します。
- **qos** : QoS テーブルを表示します。
- **secondary** : セカンダリ テーブルを表示します。
- **station** : ステーション テーブルを表示します。
- **vlan-list** : VLAN リストのテーブルを表示します。

**usage** CAM (連想メモリ) および転送テーブル使用状況を表示します。

[[asic number [detail [invalid]] | index number [detail [invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]]

情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。

- **asic number** : 指定した ASIC デバイス ID の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 15 です。
- **detail [invalid]** : (任意) 有効または無効の詳細を表示します。
- **index number** : (任意) 指定した TCAM テーブルインデックスの情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 32768 です。
- **num number** : (任意) 指定した TCAM テーブル番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 32768 です。

#### デフォルト

なし

#### コマンド モード

特権 EXEC

#### コマンド履歴

リリース	変更箇所
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

#### 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。



(注)

**usage** キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtringには表示されますが、サポートされていません。

# show platform vlan

プラットフォームに依存する VLAN 情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform vlan** コマンドを使用します。

```
show platform vlan {misc | mvid | prune | refcount | rpc {receive | transmit}}
```

## 構文の説明

<b>misc</b>	各種 VLAN モジュール情報を表示します。
<b>mvid</b>	マッピングされた VLAN ID (MVID) 割り当て情報を表示します。
<b>prune</b>	プラットフォームで維持されるブリーニング データベースを表示します。
<b>refcount</b>	VLAN ロック モジュールについてのリファレンス カウントを表示します。
<b>rpc {receive   transmit}</b>	リモートプロシージャ コール (RPC) メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>receive</b> : 受信した情報を表示します。</li> <li>• <b>transmit</b> : 送信した情報を表示します。</li> </ul>

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。